

發行兼編輯人 川崎文治

印刷所 常磐毎日新聞社

定部 五錢 廣告 五錢 印刷 五錢

電話 二四一

平町田町 電話 三三三番

丸登株式會社

川添房二郎

刊夕日七廿月十

急告 貸家

本町通り目抜の場所にて角家敷貸し度し

姓名在社

美味で評判の 遠藤パン (平驛前)

山吉印醬油

元造 鹽屋本本店

電話 二七番

特長 美味 經濟

清酒 鶴仙 余松吉屋本店

電話 二四一

久野製菓販賣部

福島縣平町一丁目 電話 一五〇番

工場 平町長橋町六十一番地

戸城郡平窪村

營業種目

味付落花糖 新らたに菓子工場を経営して皆様方の御家庭にお安く提供する事となりました何卒お買の程を

御案内

一、冬衣各種特價提供

二、實用的な編物の季節で御座います

三、編物界の王千葉富美先生著

毛糸編物研究 60銭

弊店毛糸部にて販賣致します

海岸線平町 三井吳服店

寄書

哀調 (一)

中山雅司

歴史を繕いて治亂興廢の跡を識り、榮枯盛衰の果を視る時に人心の急所を刺して、其鳴互感涙おのづから下るを禁じ得ない程の尋々物々には、必ずや一種の哀調を含んで居る

哀調は實に人情發露の源泉である、如何なる憤怒も此源から流れたのでなければ、人心の奥に響かず、如何なる欣喜も此泉から出たのでなければ胸裡に觸れる程の味はない、卒業證書に對する母子の喜びも苦學難

平町田町 吉田眼科醫院

森合齒科醫院

平町白銀町通

東邦民衆保險

火災

代理店 磐野源三郎

草野町四丁目 電話 一七五番

ゼブラ自轉車購買會

今回は何時でも御入會が出来升

惠比壽屋商店

平南町 (電話呼三四四番)

丸登株式會社

川添房二郎

平町田町 電話 三三三番

やさめ、袖にも袂にも包み兼ねて一時を凌ぐ茶椀酒、待つ夜更け行く鐘の聲

脂の||寒りは通ることも主に通らぬ||この苦勞泣くが如く、恨むが如く、また訴ふるが如く、二十四五の如き藝者が欄干に凭れて歌ふ二上新内

斯く悲哀の情緒に充ちた人は、何物かの力を借りて其哀愁愛苦を分たうとするそこで詩歌を好む者は、詩歌の力に依り文章を喜ぶ者は筆硯の勢を借り、音楽を嗜む者は、其樂器の力を借りて胸中を語らうと自然に心づくものである (續)

株式買中値

電話に金融 致し

銘格 拂込 時價

磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四二〇
磐城實新	三〇〇	二八〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二五〇
同 新	一五〇	一九〇
同 新	五〇〇	五五〇
同 新	一一五	一六〇
同 新	一一五	九八
同 新	一一五	四二〇
同 新	一一五	一九五
同 新	一一五	七五
同 新	一一五	一三五
同 新	一一五	二五〇
同 新	一一五	二六〇
同 新	一一五	一八〇
同 新	一一五	三〇〇
同 新	一一五	一七〇
同 新	一一五	四一〇
同 新	一一五	一八〇
同 新	一一五	六二五
同 新	一一五	四三〇
同 新	一一五	八〇

本紙記事に感激し

大越中佐を映畫に

武功の數々を劇に仕組む 帝國キネマニ交渉

本紙第一面に掲載した琴曲の大家上原眞佐喜女史の寄書「落花の戀」は植竹源太郎翁の作に係る大越中佐の歌詞に上原女史が作曲した苦心談であるが各方面の注目を引き中にも帝キネ直營常設活動寫眞館有聲座主北郷竹次郎氏は大越中佐の武勳に感激し偉功の數々を活動寫眞の劇に仕組んで撮影せんと其交渉の爲め前記寄書掲載の本紙を携へ昨夜上京し帝キネ本社に赴いた由

植田警察署

昇格祝賀式

盛況を呈す

既報植田警察署昇格式は昨日午前十時から同地八幡公園に於て舉行先づ警消防組頭擧式を宣し發起人總代中根町長の式辭に次ぎ知事代理伊藤警部、郡長代理遠藤上席、古川縣會議員、佐藤檢事、藤田學校長總代、渡邊湯本町長、赤坂組頭總代、植田町議總代の各祝辭ありて渡部同警察署長答辭を朗讀し閉式後園遊會に移り藝妓の手踊り其他の餘興あり一方底抜け屋台の囃子賑々しく非常な盛況を呈した

觀音堂再建築

石城郡川部村蛭田廣次氏外二名發起となり同村山王佛具山

を蒙つた爲め一般に値段が高いと

射倅行爲を

平署が取締る

師走近くなつて各商店を通じて客足が次第に減り贅澤品は勿論日用品さい買瀝るあり様で各商店共に賣付策に苦心して居るが其結果射倅行爲が無盡などを密かに

湯本温泉の復活近し

工費三萬八千圓を投じて

舊三星から引湯

石城郡湯本温泉にては炭礦掘進の爲め涸渇した同温泉の復活を期し愈々舊三星炭礦より水管を以つて温泉を引く計劃にて來月中旬から着工の見込みであるが口徑六インチの水管延長千九百間を埋没し工費三萬八千圓にて年内には完成の豫定である

警女校運動會

磐城高等女學校にては來月三日午前八時から校庭にて運動會を催すと

列車防害の

小石を積む

犯人嚴探中

昨日湯本驛午後三時卅八分上り列車が關船地内に差懸つた際下り線に小石の積まれてある事を車掌が発見泉驛に到着と同時に其旨を湯本驛に傳へた爲め早速係員が現場を調査せるに二寸角

好間で捕る

山林に潜伏中

既報仕立屋銀次の子分前科十三犯信夫小僧事佐藤末次郎(五)は平町行路病舎を逃走後山野に潜伏し居たものゝ如く今朝好間村山林にて同村消防組員に逮捕された

平署車体検査

平署にては本日午前九時から人力車體検査を執行したが検査車七十四台の内改善を要するもの三台あつたと

幼児が

眞逆様で溺

溜桶に落ち込む

石城郡豊間村大字薄磯字北

の作漁夫三之助長男鈴木兼三郎(三)は去る廿四日午前十時頃井戸流尻の溜桶に眞逆様に落ち込み兩足を突き出した儘溺死した

梯子を掛け

フシにて縊首

飯場にて

石城郡内郷村磐城炭礦横山飯場坑夫露久保龍(四)は昨夜十時頃同飯場戸袋に梯子を掛け繩にて縊首したのを今朝四時頃発見大騒ぎとなり七海部長檢視に出張した

小野田の小火

石城郡警備村小野田炭礦第四斜坑事務所の煙筒より發火し屋根約三尺四方を燃え抜きたるも大事に至らず消止めた

平實リーグ戦

昨日の接戦

田町對遞友 山崎對銀星

昨日午前十時半から田町先攻にて遞友と戰ふ田町軍守備固きに反し遞友失策多く廿一對三にて田町大勝す廿二日午後一時からの山崎對銀星の試合は頗る興味を以つて迎へられ兩軍殺氣漲つて觀衆を熱狂せしめ攻守共に固く互に採點を數へたが山崎しばしばチャンス逃し接戦九回にして八對六にて山崎惜敗した因に本日迄の各チームの積成は左の如くである

田町二勝一敗、銀星同

みどり一勝一敗、遞友同、山崎二敗、

讀者諸君の

思ひ付きを募

本紙は讀者諸君の爲めに備へた公器であるの故を以つて常に諸君からの御注意を參酌して本紙の製作に努力して居ます、就いては來月一日を以つて創刊一週年に達しますのを機會として紙面に改善を要すべき點に關して諸君の思ひ付きを左

常警片々

湯本で列車妨害の小石を積んだ馬鹿があるそんな積みたけりや賽の河原へ往け農家を賣り急ぎ持ち米迄市場に擔ぎ出す、今度は高

記要領にて募り採用せるものに對し薄謝を呈します

一、斯ふ云ふ記事に掲載されたいとか、紙面の体裁を斯うして欲しい、或は従來の編輯に對する批評其他注文等總ての思ひ付きを具体的に書かれる事

一、締切は來る廿八日迄

一、住所氏名必ず明記する事

一、宛名は平町長橋町常磐毎日新聞社思ひ付き係

に於ける東北振興會支部總

い米を買つて食つて儲けを吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

會に出席すべき各地代表者を以て石城郡を視察せしむべく廿八日以後に於て四倉セメント、磐城炭礦、小名濱築港に案内すると

米の騰貴で

農家賣り急ぐ

此機を利用し

ボロイ儲けを

新米がそろ／＼出廻り始めたが値段が頗る高い處から著しい人氣を呼んで居る、しかし商人達には餘り恩恵がなく獨り農家を喜ばして居る形ちであるとの事だ即ち商人の比較的利益が薄いと云ふのはコレ迄の處大半は先約取引もの、受授であ

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

吐き出す氣か

「ローズ」が

平町へ配給

最近米國ソーター會社から煙草「ローズ」が輸入され

平町へ配給

最近米國ソーター會社から煙草「ローズ」が輸入され

平町へ配給

最近米國ソーター會社から煙草「ローズ」が輸入され

平町へ配給

最近米國ソーター會社から煙草「ローズ」が輸入され

募集

文藝其他投稿

れたから市内に顔を出すのも間近であらう一組は十本入十錢にて此前のオールドミルと同じであると

女教員の大會

石城郡北部教育協議會にては廿九日十時から草野小學校にて女教員大會を開くと

平町人事

▲死亡

▲鎌田町 鈴木タマ(三三)

▲番城跡 渡部秀雄(一四)